

教師はリスニングを教え、生徒は英語を聞いているか
—大学入試センターリスニング試験の波及効果—

Do high school English teachers teach listening, and
do students listen to spoken English?
— To explore washback effects of the introduction of the
Centre listening test in Japan —

柳川 浩三
法政大学

Abstract

The purpose of the study was to investigate whether or to what extent the introduction of the listening comprehension component into the *Centre Test* in Japan (henceforth, JNCTL) affect the stakeholders including high school English teachers and the students. More specifically, this study explored into (i) whether high school English teachers are interested in the JNCTL or not, (ii) whether they teach listening or not, (iii) whether high school students are interested in the JNCTL or not, (iv) whether they listen to spoken English or not, and (v) why.

To answer research questions (i) through (iv), a questionnaire was developed and administered to 99 high school English teachers and 391 third-year students, while to answer research question (v) another questionnaire was to 10 third-year high school students from a different school. The results revealed that overall, English teachers do not regularly teach listening in their classes, and that the students do not regularly listen to spoken English outside schools, suggesting that the introduction of the JNCTL seems to have limited effects on the stakeholders.

キーワード： 大学入試センターリスニング試験、利害当事者、波及効果 リスニング指導

1. 研究の背景と目的

大学入試センター（英語）試験（以下、センター試験）にリスニング試験が導入されて6年が経った。松沢（2009）はそのおかげで、高校英語教師がリスニングを授業で取り上げるようになったとし、高校生もリスニングの学習に励むようになった（p. 31）、と述べている。また、全国英語教育研究団体連合会（全英連, 2007）や向後（2006）も同様の見方を示している。こうした見方は、リスニング試験の導入により、高校の英語授業がコミュニケーション重視の授業へと変わりつつあるのではないかという期待を反映したものであろう。しかし、Messick（1996）や Green（2007）は、テストが授業に及ぼす波及効果は直線的ではないと言う。実際、大学入試問題の内容が高校教師の指導方法に与える影響は大きくないという報告もある（Watanabe, 1996）。そもそも、センター試験へのリスニング試験の導入が、高校教師やセンター試験受験予定者の高校生に与える影響について調べた研究は、ほとんどない。

果たして、センター試験へのリスニング試験の導入によって、高校教師が教室でリスニングを取り上げ、生徒は英語を聞くようになったのであろうか。本稿ではそれを検証する。研究課題は以下の通りである。

2. 研究課題

高校教師を対象に研究課題1と2を、センター試験受験予定の高校3年生を対象に研究課題3-5を設定した。

1. 高校英語教師は大学入試センター英語リスニング試験（以下、センターリスニング試験）に関心を持っているか。
2. 高校英語教師はリスニングの指導をしているか。
3. センター試験受験予定の高校3年生はセンターリスニング試験に関心を持っているか。
4. センター試験受験予定の高校3年生は英語を聞いているか。
5. それ（課題4の結果）はなぜか。

3. 研究の方法

3.1 回答者

高校教師の調査対象者（研究課題 1 と 2）は、高校英語教師 99 名（男 41 名、女 54 名、不明 4 名）であった。回答者の勤務校の 73%は、調査時点で、センター試験受験予定の 3 年生が 5 割を超える学校で占められた。

一方、生徒の調査対象者は、二つに分かれた。研究課題 3 と 4 の調査対象者は神奈川県内の高校 3 年生 391 名とした。彼らは、県内の異なる地域の高校 4 校からそれぞれ約 100 名抽出された。平成 22 年 7 月時点で、彼らの 86%がセンター試験を受験予定であった。研究課題 5 は研究課題 3 と 4 の対象校とは異なる学校（E 高校）の高校 3 年生 10 名（男 6 名、女 4 名）を対象とした。10 名は、筆者が夏休み中に開催した「センターリスニング試験対策講座」の受講者であり、当該年度に実施されるセンターリスニング試験を受験する予定であった。したがって、研究課題 5 と研究課題 3 と 4 との回答者の相違が、本研究の結果の解釈への妥当性を損なうものではないと判断した。

3.2 質問紙

5つの研究課題に応じて次のような3種類の質問紙を利用した。

質問紙1（付録1）：研究課題1-2用

- 「あなたはセンターリスニング試験についてどの程度知っていますか」
- 「あなたは、センターリスニング試験の過去の本番の問題を問題集等で実際に解答したことがありますか」
- 「あなたがリスニング指導に費やす時間は、通常どれくらいですか」

質問紙2（付録2）：研究課題3-4用

- 「あなたはセンターリスニング試験についてどの程度知っていますか」
- 「あなたは、センターリスニング試験の過去の本番の問題を問題集等で実際に解答したことがありますか」
- 「学校以外での英語の勉強で、あなたがリスニングに費やす時間は英語に充てる勉強時間全体の何割くらいですか」
- 「学校で先生がリスニング指導に費やす時間は、通常、どれくらいですか」

質問紙3 (付録3) : 研究課題5用

- 「学校以外の英語の勉強であなたが多くの時間をかけるのはどれですか」
- 「その内、あなたが最も時間をかけるのはどれですか」
- 「学校以外での英語の勉強で、あなたがリスニングに費やす時間は英語の勉強全体にあてる時間のどれくらいの割合ですか」
- (リスニング学習をしていない生徒にのみ)「英語のリスニングに時間を費やさないのはなぜですか」

質問紙1及び2の回答方法は5件法のマークシート式とした。また、センターリスニング試験全般に関する自由記述欄を設けた。質問紙3は、一部複数選択を含む多肢選択式とした。尚、全ての質問紙において回答者に関する個人情報(性別・年齢・センター試験受験予定の有無・教師の勤務先高校のセンター試験受験状況)も尋ねた。

4. 研究結果

4.1 課題 1

課題 1 は、「高校英語教師はセンターリスニング試験に関心を持っているか」であった。センターリスニング試験について「知っている」(44%) または「少し知っている」(49%) を合わせると、センターリスニング試験に関心を寄せている教師は全体の 93%に達した。また、過去のセンターリスニング試験または模擬問題を解答したことがある教師は 84%に達した。この結果は、高校英語教師がセンターリスニング試験について高い関心をもっていることを示している。

4.2 課題 2

課題 2 は、「高校英語教師はリスニングの指導をしているか」であった。図 1 で示すように、リスニング指導に通常の授業の 2 割以上を費やすと回答した教師は、「3 割以上」(7%) と「2 割～3 割」(17%) を合わせても全体の 24%にとどまった。それに対して、「1 割～2 割」(46%)と「1 割未満」(28%) と「なし」(2%)を合わせるとリスニング指導をしている時間が 2 割に満たない教師は全体の 76%にのぼった。この結果、リスニング指導に十分な時間をかけている教師は少ないことが示された。

教師はリスニングを教え、生徒は英語を聞いているか

高校英語教師対象 (N=99) :
Q あなたがリスニング指導に費やす時間は通常、どれくらいですか

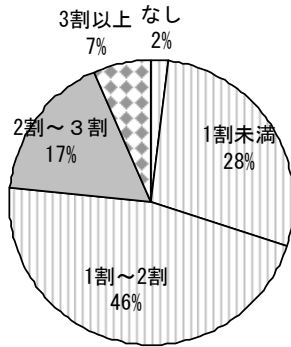


図1 リスニング指導に費やす時間

一方、生徒に、「学校で先生がリスニング指導に費やす時間は、通常、どれくらいの割合ですか」と尋ねたところ、「3割以上」と回答した生徒は全体の3%、「2割～3割」と回答した生徒も20%にとどまった(図2)。この結果は、生徒側の視点からも、教師が授業内でリスニング指導に充分時間をかけていないことを裏付けている。

Q 先生がリスニング指導に費やす時間は通常、どれくらいの割合ですか (N=391)

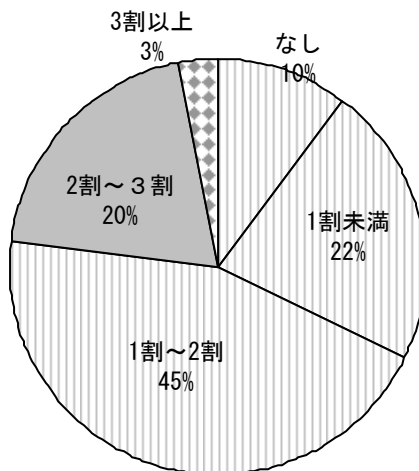


図2 生徒から見た授業内でのリスニング指導の時間

4.3 課題 3

研究課題 3 は「センター試験受験予定の高校 3 年生はセンターリスニング試験に関心を持っているか」であった。センターリスニング試験について「知っている」(13%) または「少し知っている」(51%) と回答した生徒を合わせると生徒全体の 64% がセンターリスニング試験に関心を示していた。一方、「あまり知らない」(29%) または「ほとんど知らない」(7%) と回答した生徒は全体の 36% であった。また、過去問題または模擬問題の解答経験率は、調査した 7 月時点では半分に満たなかった (47%)。この結果から、センター受験予定者はセンターリスニング試験に対して一定の関心の高さを示していると言えるであろう。

4.4 課題 4

研究課題 4 は、「センター試験受験予定の高校 3 年生は英語を聞いているか」であった。「学校以外での英語の勉強で、あなたがリスニングに費やす時間は英語にあてる勉強時間全体の何割ぐらいですか」という問いに対し、「1 割未満」(47%) または「なし」(33%) と回答した生徒を合わせると 80% に達した (図 3)。これは、8 割の生徒が日々頃から英語を聞くことが非常に少ないことを示している。加えて、研究課題 2 の結果が示すように、学校の授業で教師がリスニングを十分指導していないことを踏まえると、多くの生徒が学校でも家庭でも英語を聞いていないことが伺える。

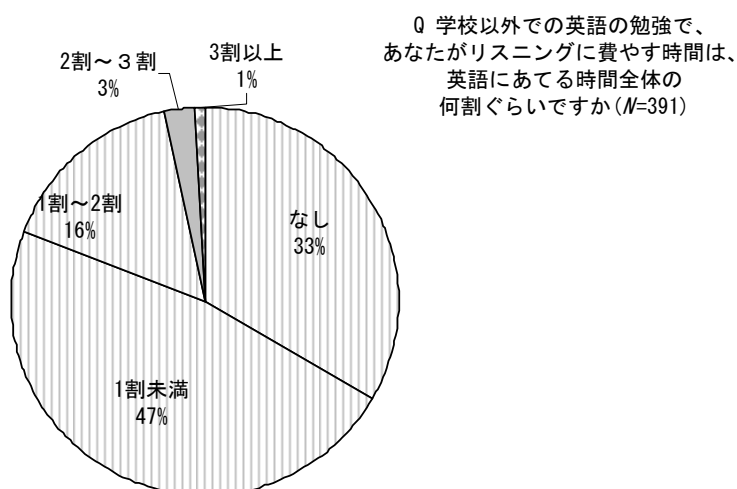


図 3 高校 3 年生がリスニングに費やす時間

4.5 課題 5

研究課題 5 は、研究課題 4 の結果、つまり、生徒が学校外（自宅）で英語のリスニング学習にかかる時間が少ない原因を探ることにあつた。回答した 10 名のうち、以下の 2 名は分析から除いた。センター試験を受験しない生徒 1 名と、学校以外の英語の勉強でリスニングに費やす時間が英語の勉強にあてる時間全体の 2 割～3 割に達すると回答した 1 名、の計 2 名である。後者を分析から除いた理由は、英語の勉強時間全体の 2 割以上をリスニングに充てていれば、リスニング学習にも一定の力を注いでいると判断したためである。結果、8 名について分析を行った。

表 1 が示すように、リスニングに時間を費やさない理由についてたずねたところ、「やり方がわからない」と「時間がない」を理由に挙げる回答者が（複数回答可）それぞれ 5 名で最も多かった。反面、彼らは、語彙と文法を最優先に取り組んでいることがわかる。8 名中 4 名がライティングを挙げた理由は、E 高校が学校全体でライティング力の育成に力を注いでいた影響があると思われる。

表1 日頃の英語の勉強で優先しているものとリスニングにかかる時間が少ない理由 (N=8)

質問項目	Q1 学校以外の英語の勉強で、あなたが多くの時間をかけるのはどれですか。3 つまで○で囲んでください。	Q2 そのうち(前の解答の内)、あなたが最も時間をかけるのはどれですか。1 つだけ○で囲んでください。	Q4 英語のリスニングに時間を費やさないのはなぜですか。あてはまるもの <u>全て</u> を○で囲ってください。
選択肢	単読聞文書会 語むく法く話 熟こここ 語ととと	単読聞文書会 語むく法く話 熟こここ 語ととと	方時入 筆記効や 法間試 験 果 り を が で 出 たい 知 な 重 要 出 い ら い 要 で は ない 思 な ない ない できる わ ない
A 女	✓	✓	✓
B 男	✓	✓	✓
C 男	✓	✓	✓
D 男	✓	✓	✓
E 男	✓	✓	✓
F 女	✓	✓	✓
G 女	✓	✓	✓
H 男	✓	✓	✓
計	7 3 0 8 4 0	5 0 0 3 0 0	5 5 1 0 0 1

Q3 「学校以外での英語の勉強で、あなたがリスニングに費やす時間は英語の勉強全体にあてる時間のどれくらいの割合ですか」の回答結果は省略してある。

5. 考察

研究課題 1～5 の結果から浮かび上がったセンターリスニング試験に対する教師と生徒の現状は次のようにまとめられる。教師はセンターリスニングに一定の関心を示しているものの(課題 1)、教室で実際にリスニング指導をすることは少ない(課題 2)。一方、生徒は、センターリスニング試験に対して一定の関心は寄せているものの(課題 3)、英語を聞

教師はリスニングを教え、生徒は英語を聞いているか

く習慣がない(課題 4)。その理由として、リスニングの勉強の方法を知らないこと、リスニングに充てる時間的余裕がないこと(課題 5)の2点が考えられる。以上の結果から、センター試験へのリスニング試験の導入は、今のところ、意外にその波及効果が小さいことが伺える。

その波及効果の小ささは、次の自由記述(原文のまま)から伺える生徒のセンターリスニング試験に対する否定的態度と無縁ではないであろう。

- ・ 帰国のやつらがずるい。不公平だ。
- ・ リスニングができて話す力(返す力)がつかない試験。
- ・ リスニングテストはいらんと思う。リスニングテストができて、実際しゃべれない。
- ・ リスニングの試験はもっともっと単純でわかりやすい問題にして欲しい。
- ・ リスニングは得意ではないので難しくして欲しくないです。個人的に。
- ・ リスニング自体なくしてよいと思います。耳のよさで、測られたくない。

また、以下のコメントに見られるように、IC プレーヤーへの精度に対する不安もセンターリスニング試験への生徒の否定的態度の要因になっているようである。

- ・ リスニングで使われるレコーダーの問題をどうにかするべきだと思う。
- ・ 機械の不具合は絶対に出してはいけないと思う。
- ・ 個別音源方式は不安と無駄を増やしているだけな気がします。英語を聞いて理解できる能力を測るのが試験だと思うし・・・

以上の自由記述から、我々英語教師と大学入試センターにはそれぞれ1つの示唆が提示されていると考えられる。まず、教師が日頃から授業の中で音(リスニング)を取り入れることで、生徒に英語学習における音の重要性を実感させる必要があるだろう。それにより、生徒がリスニングを大学受験で重要視される読解力や文法力とは独立したスキルとして捉える傾向は改められ、彼らのセンターリスニング試験に対する否定的な態度も改善することが期待される。一方、大学入試センターは、IC プレーヤーのさらなる技術的改良・改善の努力を継続し、信頼あるリスニング試験の実施に万全を尽くしていただきたい。

生徒の反応とは対照的に、教員の自由記述では、おおむね、リスニング試験の導入を歓迎する様子が伺えた。

- ・ 問題点もあるでしょうが、リスニング指導に見向きもしなかった時代を考えれば、波及効果がプラス面であったと思います。
- ・ リスニング試験を実施することに意味がある。

興味深いのは、上記のようにリスニング試験の導入を歓迎する教師が多い一方で、実際にリスニングを授業中に取り入れている教師は相対的に少ないということである。本研究の結果が示唆するように、生徒がリスニングの勉強の方法を知らないことが彼らのリスニング学習の妨げになっているのであれば、教師がリスニング指導を積極的に授業に組み入れることで、生徒が自宅でリスニングに取り組む姿を期待できる。

6. まとめ

本稿では、大学入試センター試験（英語）に導入されたリスニング試験が、利害当事者（英語教師やセンター試験受験予定の高校 3 年生）に波及効果をもたらしているかどうかを検証した。その結果、センター試験へのリスニング試験の導入が教師や生徒に与えている影響は限定的であることが示された。教師も生徒もセンターリスニング試験に一定の関心を示しながらも、リスニングを授業に積極的に取り入れている教師も、リスニングを日々の英語の勉強に組み込んでいる生徒も少数であることがわかった。

センター試験へのリスニングの導入は、「英語が使える日本人のための戦略構想」（文部科学省、2002）を受けて、日本人英語学習者の口頭コミュニケーション能力を向上させることにそのねらいがあった。しかし、本稿の結果から、現場は必ずしもそのねらいどおりには変容していないことが示唆された。

しかし、学習指導要領やセンター試験がどう変わろうが、生徒が高校段階で習得すべき基本的な英語力は、ここ 20～30 年でそんなに大きく変わっているとも思えない。我々英語教師は、そうした英語の基礎力の強化とリスニング力の強化を一体的に捉え、目の前の生徒の英語力の向上に力を注ぐべきであろう。

最後に本稿の限界を 2 つ指摘したい。第 1 に、アンケート項目の「リスニング指導」という言葉の定義が曖昧であった。どこまでをリスニング指導に含めるのか、事前に回答者に明示すべきであった。第 2 に、研究課題 1-4 と研究課題 5 の回答者が異なり、かつ、研究課題 5 の回答者（ $N=10$ ）が少なかった。今後は更に、質問紙の妥当性を高め、調査対象者数を増やして本稿の結果を再検証したい。

注

1. 本稿は、2011年5月に行われたTALK（田辺英語教育学研究会）の月例会での発表に加筆・修正を加えたものである。
2. 本稿のデータ収集は、筆者が神奈川県立小田原高校および大和西高校在職時に行ったものである。

参考文献

- Messick, S. (1996). Validity and washback in language testing. *Language Testing*, 13 (3), 241-256.
- Green, A. (2007). *IELTS washback in context: Preparation for academic writing for higher education* (Studies in Language Testing 25). Cambridge: Cambridge University Press.
- Watanabe, Y. (1996). Does grammar translation come from the entrance examination? Preliminary findings from classroom-based research. *Language Testing*, 13 (3), 318-333.
- 向後 秀明 (2006) 「英語リスニングテストの導入がもたらしたものと今後の課題」『大学入試フォーラム』29, 3-7.
- 全英連 (全国英語教育研究団体連合会, 2007) 「教育研究団体の評価」『大学入試センター試験問題と正答』 378-380.
- 松沢 伸二 (2009) グローバル化時代における大学教育と入試制度 『大学入試研究の動向』26, 31.
- 文部科学省 (2002) 「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想の策定について
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/020/sesaku/020702.htm

付録 1 高校教師対象アンケート用紙 (研究課題 1, 2)

センター試験(英語)とリスニング指導について 高校英語教師

- I このアンケートは大学入試センター英語リスニング試験(以下、センターリスニング試験)と日頃のリスニング指導についてお聞きするものです。個人は一切特定されません。また、データは研究終了後、全て破棄します。では、最初にあなた自身のことについてお聞きします。選択肢の中から一つだけ選びマークしてください。このたびのご協力に感謝します。

1 性別

- ① 男 ② 女

2 年齢

- ① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60才以上

3 あなたの現在の勤務校の3年生のうち、センター試験(英語)を受験する生徒の割合はどれくらいですか。

- ① 7割以上 ② 5割～7割未満 ③ 3割～5割未満 ④ 1割～3割未満 ⑤ 1割未満

II 次の1から3の質問にあてはまる解答を選択肢から一つだけ選びマークしてください。

1 センターリスニング試験についてどの程度知っていますか。。

- ④ 知っている ③ 少し知っている ② あまり知らない ① ほとんど知らない

2 センターリスニング試験の過去の本番の問題を問題集等で実際に解答したことがありますか。

- ④ ある ③ ない

3 あなたがリスニング指導に費やす時間は、通常、どれくらいですか

- ④ 3割以上 ③ 2割～3割未満 ② 1割～2割未満 ① 1割未満 ⑤ なし

【自由記述欄(枠内に記述してください。)】

付録 2 高校 3 年生対象アンケート用紙 (研究課題 3, 4)

センター試験(英語)とリスニングに対するアンケート

I このアンケートは大学入試センター英語リスニング試験(以下、センターリスニング試験)とリスニングについてのものです。個人は一切特定されません。また、データは分析終了後、全て破棄します。最初にあなた自身のことについてお聞きします。このたびのご協力に感謝します。

1 性別

① 男

② 女

2 学年

① 1年

② 2年

③ 3年

④ 4年

⑤ その他

3 進学希望ですか。

① はい

② いいえ

③ わからない(未定)

4 あなたはセンター試験を受験する予定ですか。

① はい

② いいえ

③ わからない(未定)

II 次の1から4の質問にあてはまる解答を選択肢から選んでください。

1 センターリスニング試験についてどの程度知っていますか。

④ 知っている

③ 少し知っている

② あまり知らない

① ほとんど知らない

2 センターリスニング試験の過去の問題を実際に解答したことがありますか。

④ ある

③ ない

3 学校で先生がリスニング指導に費やす時間は、通常、どれくらいの割合ですか。

④ 3割以上

③ 2割～3割未満

② 1割～2割未満

① 1割未満

⑤ なし

4 学校以外(塾や予備校や自宅)での英語の勉強で、あなたがリスニングに費やす時間は英語にあてる勉強時間全体の何割くらいですか。

④ 3割以上

③ 2割から3割未満

② 1割から2割未満

① 1割未満

⑤ なし

【自由記述欄(枠内に記述してください。)]

付録 3 センター試験受験予定の高校 3 年生対象アンケート用紙 (研究課題 5)

学校外 (自宅や塾・予備校) でのあなたの英語学習についてお聞きします。

1. 学校以外での英語の勉強で、あなたが実際に多くの時間をかけているのは次のどれですか。3 つまで○で囲んでください。

単語・熟語 読むこと 聞くこと 文法 書くこと 会話 そのほか

2. そのうち、あなたが最も多くの時間をかけているのはどれですか。1 つだけ○で囲んでください。

単語・熟語 読むこと 聞くこと 文法 書くこと 会話 そのほか

3. 学校以外での英語の勉強で、あなたがリスニングに費やす時間は英語に充てる勉強時間全体のどれくらいですか。

3 割以上 2 割～3 割 1 割～2 割未満 1 割未満 ゼロ

4. 問 3 で、「1 割未満」または「ゼロ」と回答した人にお聞きします。あなたが、英語のリスニングに時間を費やさないのはなぜですか。下からあてはまるものすべてを○で囲ってください。

方法を知らない

時間がない (他に優先しなければならないことがある)

入試で重要ではない

筆記試験ができればリスニングもできる

効果が出にくい

やりたいと思わない

そのほか (具体的に)

ご協力ありがとうございました。